
平成24年3月期
第2四半期決算説明会

平成23年11月9日

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>

目次

I**平成24年3月期 上期実績****II****主要施策の状況****III****平成24年3月期 通期見通し**

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

I . 平成24年3月期 上期実績

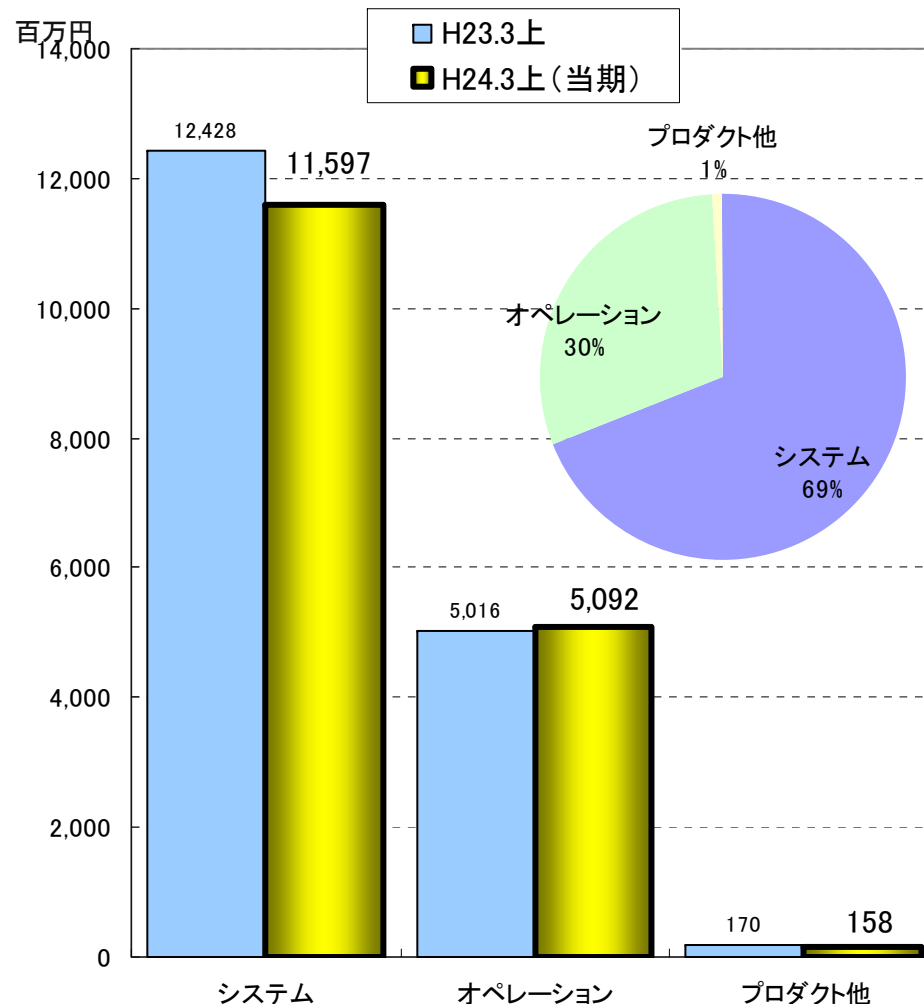
単体・業績実績 (平成24年3月期 上期)

(単位：百万円、%)

	金額	売上比	前年同期比		当初予想比	
売上高	16,848	—	95.7%	-766	98.5%	-251
売上総利益	2,641	15.7%	114.8%	+340	112.4%	+291
販管費	1,547	9.2%	99.8%	-3	96.7%	-52
営業利益	1,094	6.5%	145.9%	+344	145.9%	+344
経常利益	1,229	7.3%	138.6%	+342	144.7%	+379
四半期純利益	802	4.8%	156.5%	+289	160.5%	+302

単体・売上高・品目別 (平成24年3月期 上期)

システムの減少は、前年同期の金融大型案件の影響
一方、中小規模の開発案件が大幅増加



システム

(前年同期比 93.3%)

- ・前年同期の金融大型案件がピークアウトしたことにより減少
- ・ERP等の中小規模の開発案件が増加

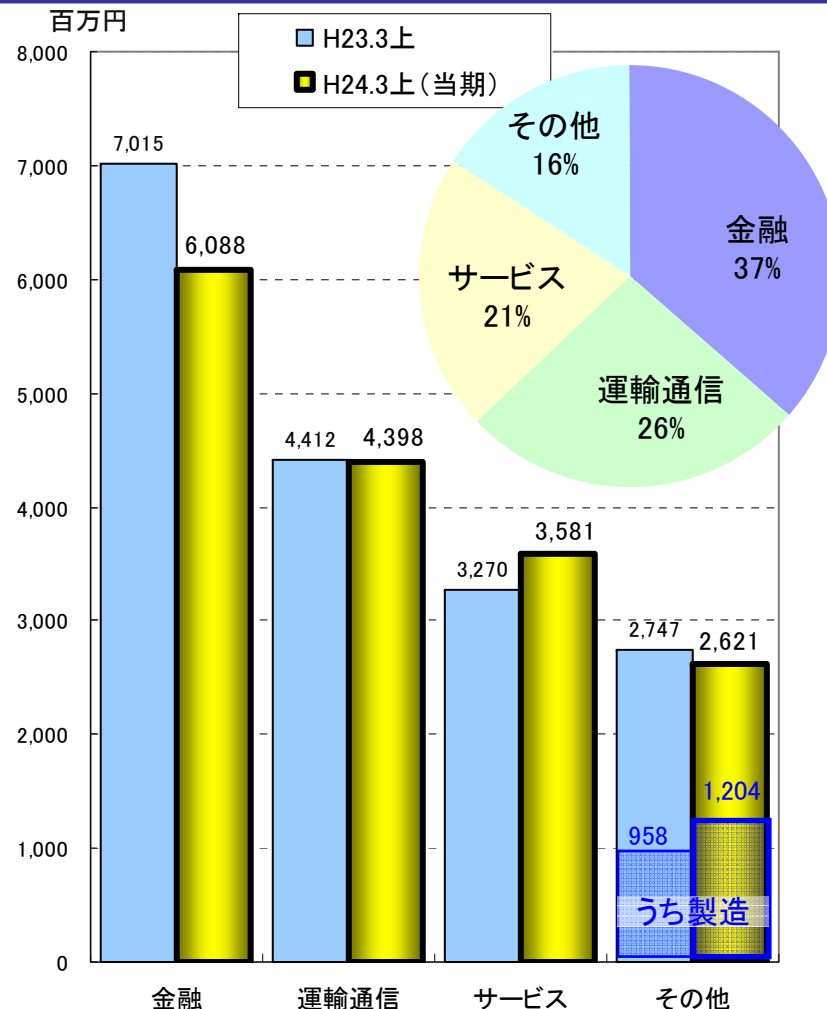
オペレーション

(前年同期比 101.5%)

- ・運用コスト削減への動きが一巡し、新たな運用案件の獲得により増加

単体・売上高・エンドユーザ業種別 (平成24年3月期 上期)

金融の大型開発案件は端境期、サービス・製造は売上増



金融業 (前年同期比 86.8%)

- ・前年同期の大型案件の影響で減少
- ・統合案件や他メガバンク案件は増加
- ・証券はアウトソーシング案件の新規獲得により増加

運輸通信業 (前年同期比 99.7%)

- ・運輸や移動体通信関連が増加
- ・営業フロント案件は減少

サービス業 (前年同期比 109.5%)

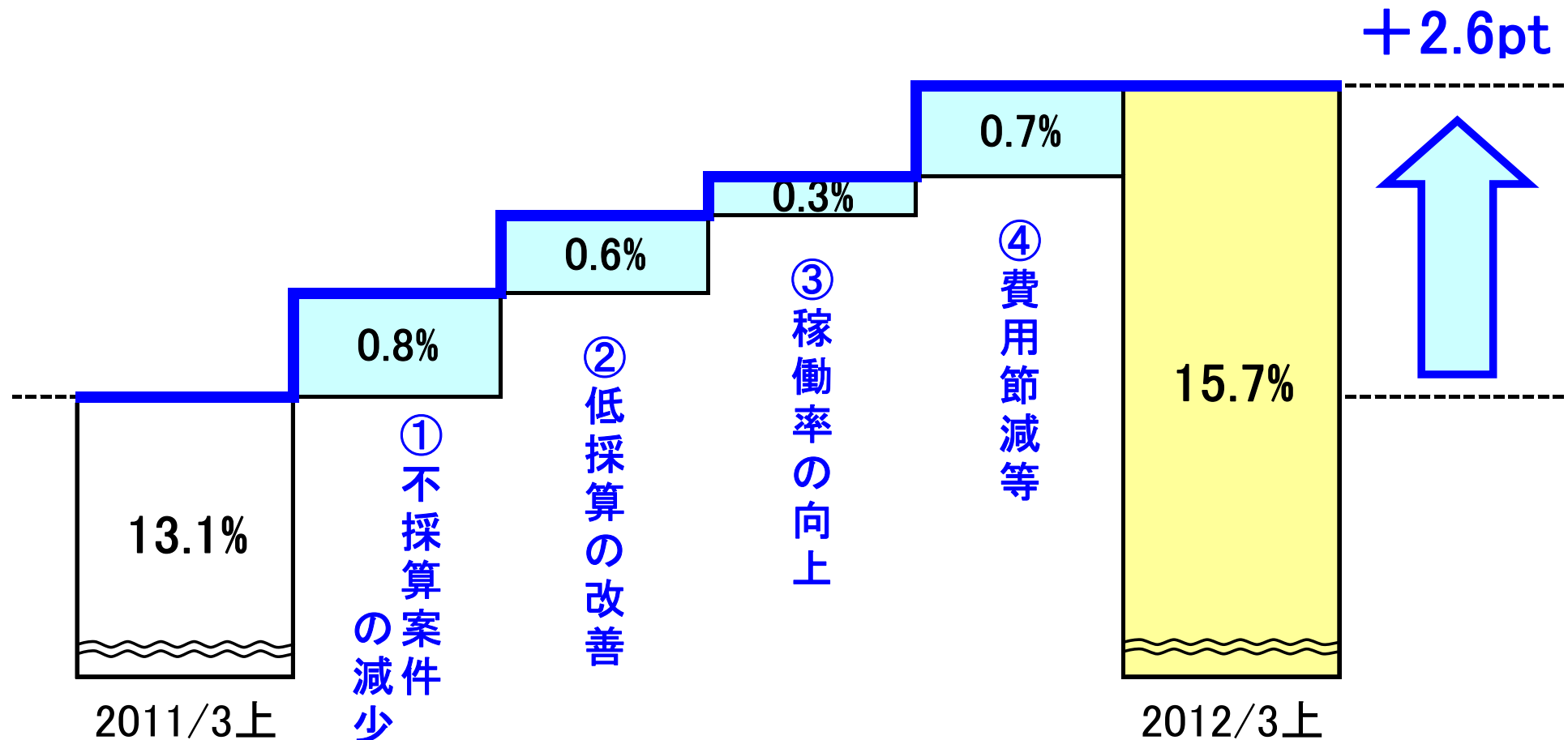
- ・広告やアミューズメント関連などの幅広い顧客で増加

その他 (前年同期比 95.4%)

- ・製造は引き続き好調に推移し増加
- ・公共は減少

単体・売上総利益(平成24年3月期 上期)

①不採算案件の減少、②低採算の改善、③稼働率の向上等により売上総利益利率が改善



単体・営業利益、経常利益 (平成24年3月期 上期)

中期計画に基づく戦略的費用の活用は計画どおり実施
経費削減の取組みは継続的に実施し、販管費は減少

販管費 1,547百万円 (前年同期比99.8%、売上比9.2% (前年同期比+0.4pt))

戦略的費用の増加 (新規事業創出、経営インフラ強化等) + 34百万円
経費削減の取組み等による減少 - 37百万円

営業利益 1,094百万円 (前年同期比145.9%、売上比6.5% (前年同期比+2.2pt))

経常利益 1,229百万円 (前年同期比138.6%、売上比7.3% (前年同期比+2.3pt))

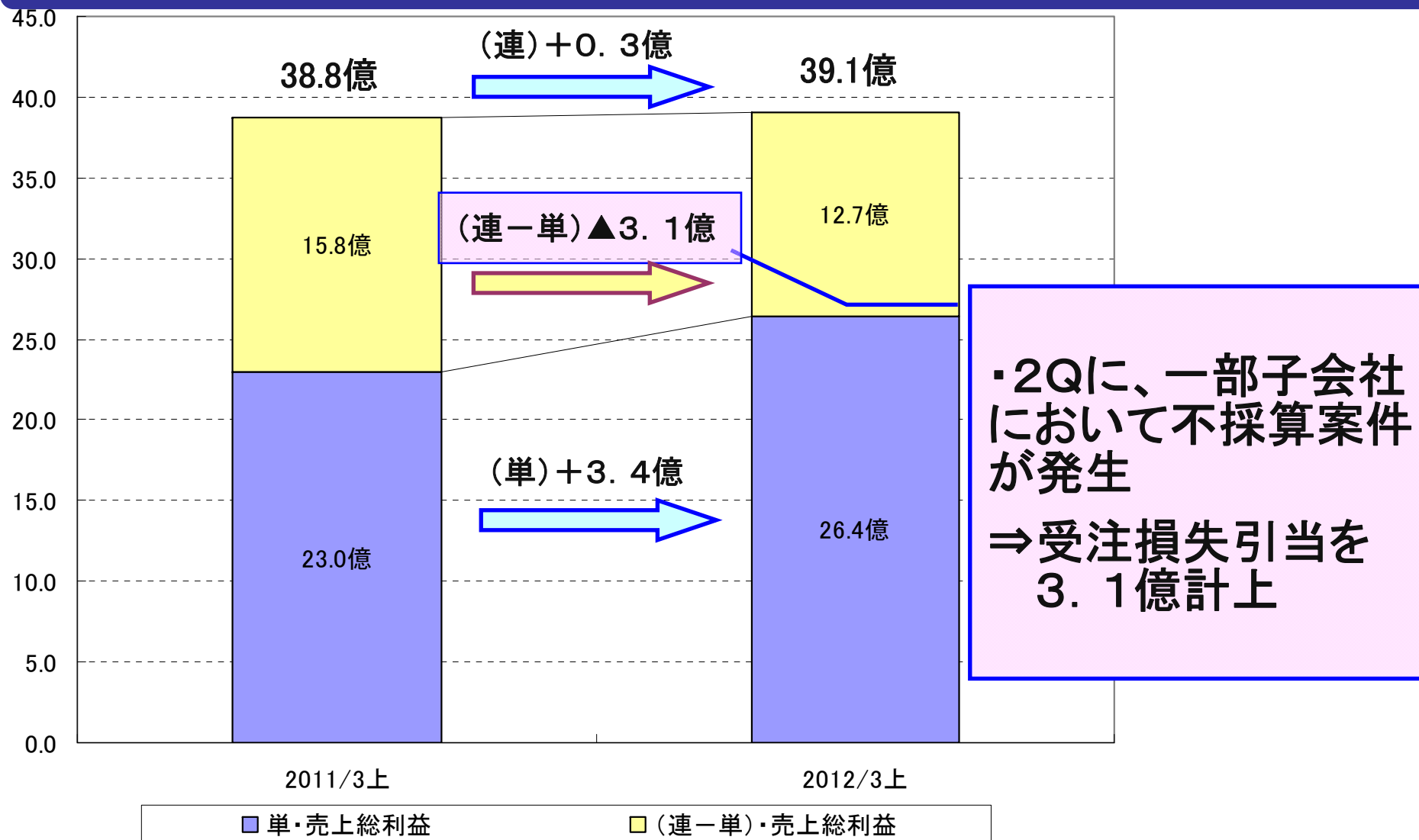
連結・業績実績 (平成24年3月期 上期)

売上高減少は、①単体の減少、②一部子会社における震災による物販の減少 による。(利益は後述)

	金額	売上比	前年同期比		当初予想比	
売上高	28,200	—	96.7%	-950	97.6%	-699
売上総利益	3,919	13.9%	100.8%	+ 31	98.0%	- 80
販管費	2,904	10.3%	98.3%	- 50	96.8%	- 95
営業利益	1,015	3.6%	108.7%	+ 81	101.5%	+ 15
経常利益	1,067	3.8%	98.2%	- 19	101.7%	+ 17
四半期純利益	509	1.8%	112.5%	+ 56	102.0%	+ 9

連結・売上総利益 (平成24年3月期 上期)

単体は利益額は大幅増、連結では一部子会社に不採算案件発生



グループ各社・業績実績 (平成24年3月期 上期)

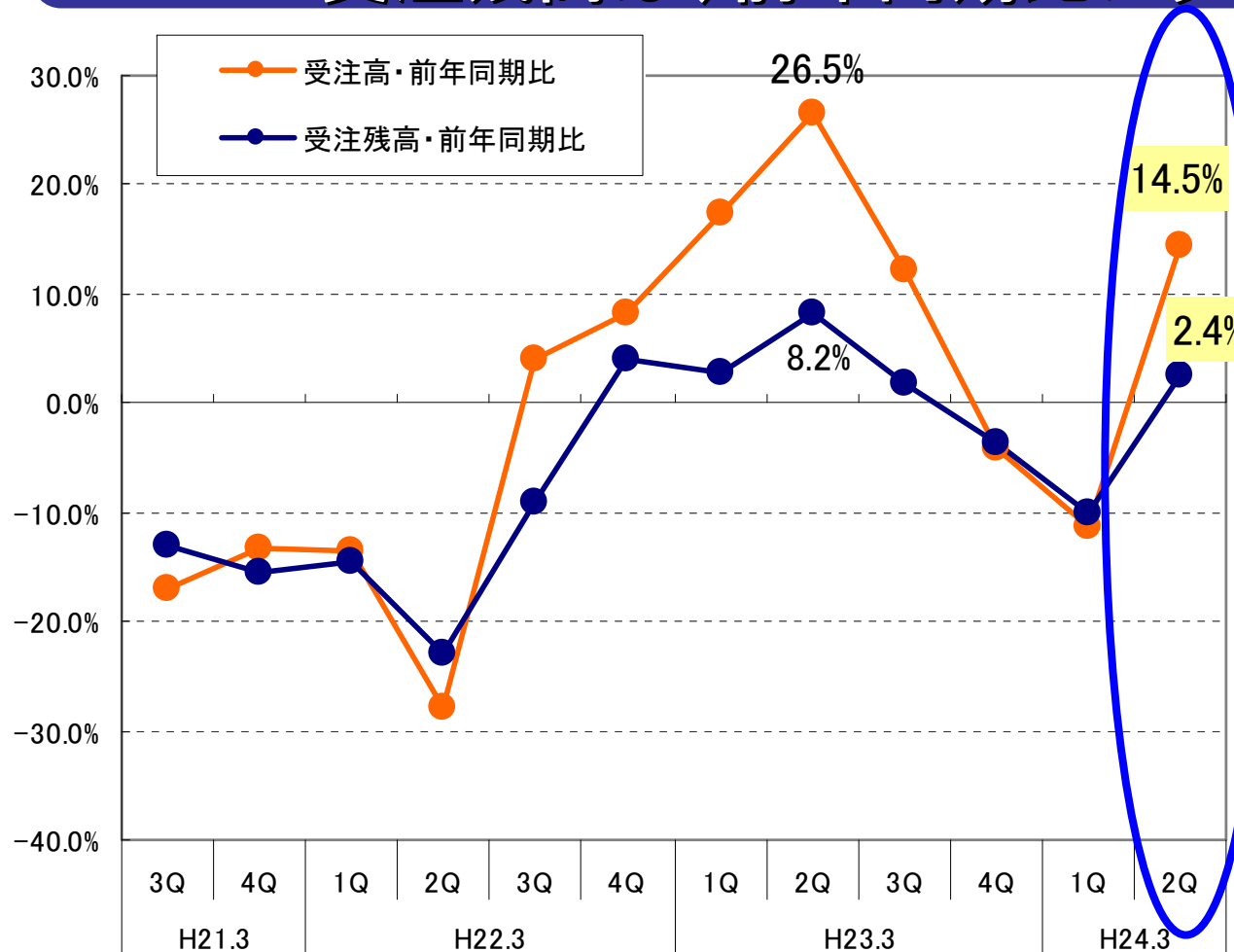
(単位：百万円、%)

社名	売上高			営業利益			
	金額	前年同期比	当初計画比	金額	売上比	前年同期比	当初計画比
データリンクス	4,037	97.8%	102.3%	94	2.3%	100.0%	106.7%
デジタルテクノロジー	3,002	90.2%	88.7%	41	1.4%	251.0%	45.0%
FAITEC	2,395	102.5%	96.4%	-134	-	[-374]	[-359]
日本SE	2,010	89.3%	96.7%	26	1.3%	31.9%	29.7%
九州DTS	608	156.3%	120.3%	14	2.4%	253.5%	127.8%
総合システムサービス	524	104.7%	98.8%	-97	-	[+ 1]	[- 71]
MIRUCA	212	100.2%	104.5%	11	5.4%	81.7%	105.9%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。
 []は、当期金額－前期金額

連結・受注高、受注残高 (平成24年3月期 上期)

受注高は、2Q(7-9月期)に大幅回復
受注残高は、前年同期比プラスに転じる



受注高
(前年同期比 +14.5%)

・金融は主要顧客3行すべてが受注増

・運輸通信、サービスについても増加

Ⅱ. 主要施策の状況

主要施策

1. 営業力強化・顧客満足
2. SI力強化
3. 新規事業の強化・グローバル展開の強化
4. 経営基盤の確立
5. グループ総合力強化

主要施策①『営業力の強化』

上期

営業統括部署を新設し、営業プロセスの可視化および標準化の推進

更なる深耕
と裾野拡大

- ・主要顧客を中心に、更なる深耕を目的にアクションプランを作成
- ・取引先数の増加
⇒取引先:337社 前年同期比+55社

営業プロセス
標準化

- ・DTS標準の営業マニュアル(0.5版)を作成し、営業を展開中
- ・SFAに営業標準プロセスを取込み、営業情報の共有化を図る

下期

- ・営業標準マニュアル1.0版リリース
- ・顧客満足度調査を拡充⇒改善策をアクションプランへ

主要施策②『SI力の強化』

上期

- ・プロジェクトマネジメント強化を推進
- ・KPIの導入(目標の明確化)

コスト
コントロール
強化

- ・不採算(赤字)や低採算案件は大幅減少
- ・KPIを導入によりコストコントロールを浸透

開発プロセス
標準化

- ・プロジェクトマネジメントシステム(CMMILレベル4準拠)の適用プロジェクトを拡大

下期

- ・プロジェクトマネジメントシステムの定着、拡大
- ・現場力向上委員会立上げ⇒“現場力”の更なる向上

主要施策③『新規事業・グローバル展開の強化(1)』

上期

新市場開発本部を中心に、アライアンスの積極活用により新規事業を創出

アライアンス
事例

【ソリューション】

- ・BIツール：(株)OBC 『DaTaStudio Finder』
(株)日立製作所 『BI NavigationStudio』

- ・節電対策：日比谷総合設備(株)
『Smart Lighting Controller』

【パッケージインテグレーション】

- ・ERP : SAP、Biz J
(人事、会計、販売管理・SCM)

下期

- ・アライアンスに関しては今後も積極的に活用
- ・新たな企画型事業の創出を推進

主要施策③『新規事業・グローバル展開の強化(2)』

上期

グローバル化推進部署を新設し、海外進出に向けた取り組みを強化

日本企業の
グローバル
展開支援

- ・米国 : 現地法人を設立(2011年11月)
⇒ 日系金融機関の需要取り込み
- ・アジア: 中国に続く拠点設立を検討中
⇒ 日系金融機関だけでなく他業種の
需要も発掘

現地ビジネス

- ・自社パッケージの販売から開発案件へ
展開(中国・製造業向け)

下期

・日本企業のグローバル展開支援および現地ビジネスの更なる拡大

主要施策④『経営基盤の確立』

上期 人事制度改革や次期社内システム構築を推進

人材育成
人事制度

- ・外部資格取得者数の増加
⇒外部資格取得率:232.9% 前年同期比+13.7pt
- ・有能な人材の発掘、『役割』と『成果』に見合った処遇
⇒新人事制度の検討

次期
社内システム
の構築

- ・昨年度の営業管理システム(SFA)に続き、人事システム、プロジェクト管理システム等の検討を推進

下期

・拡大成長を図るため、引き続き経営基盤の確立に取り組む

主要施策⑤『グループ総合力の強化』

上期 各社の強みを生かした共同受注の拡大

共同受注

- ・生損保向けの開発案件
(DTS+DL+FAITEC+JSE)
- ・スマートフォン案件(DL+JSE)
- ・銀行ニアショア案件(DTS+QDTS)
- ・銀行データセンタ案件(DTS+DTS上海)
- ・インフラ・ハード面での相互シナジー
(DTS+DTC) など

グループSI力の強化

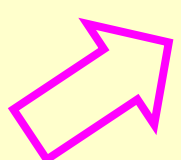
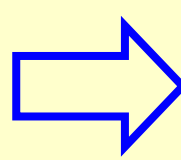
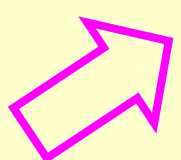
- ・一部子会社において不採算案件発生

下期

- ・子会社に対する、プロジェクトマネジメントおよびコーポレートガバナンスの強化

Ⅲ. 平成24年3月期 通期見通し

事業環境の見通し

業種	トピックス	市場動向
金融	<ul style="list-style-type: none"> ・統合関連(信託、生損保)は開発が本格化 ・海外系、決済系は、具体的案件化へ ・金融大型案件は下期受注を目指す 	
運輸通信	<ul style="list-style-type: none"> ・営業フロント等の業務系の投資は底這い基調 ・移動体通信やIDC事業者向けのクラウド基盤等は引き続き好調 	
サービス その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ERP、組込等の分野で需要旺盛 ・公共系は低調 	

単体・連結 通期業績予想 (平成24年3月期)

期初予想の達成に向け邁進

(単位：百万円、%)

	単体				連結			
	金額	売上 比率	前年 同期比		金額	売上 比率	前年 同期比	
売上高	36,200	-	102.2%	+793	60,500	-	103.4%	+1,996
売上総利益	5,400	14.9%	114.8%	+695	9,100	15.0%	113.4%	+1,077
販管費	3,200	8.8%	105.7%	+173	6,050	10.0%	105.7%	+323
営業利益	2,200	6.1%	131.1%	+522	3,050	5.0%	132.8%	+753
経常利益	2,350	6.5%	126.3%	+488	3,100	5.1%	124.6%	+611
当期純利益	1,350	3.7%	146.5%	+428	1,600	2.6%	142.3%	+475

グループ各社 通期計画 (平成24年3月期)

(単位：百万円、%)

社名	売上高		営業利益		
	金額	前年同期比	金額	売上比	前年同期比
データリンクス	8,160	100.1%	250	3.1%	106.9%
デジタルテクノロジー	6,383	101.7%	142	2.2%	660.1%
FAITEC	5,400	109.9%	103	1.9%	21.2%
日本SE	4,109	89.2%	184	4.5%	54.3%
九州DTS	1,260	127.8%	43	3.4%	241.3%
総合システムサービス	1,073	107.9%	-67	-	[+ 64]
MIRUCA	405	104.2%	7	1.9%	72.1%

各社単体の数値であり、すべてを合計しても連結の数値とは一致しません。

[]は、当期金額－前期金額

配当

第2四半期末配当は、当初予定どおり一株当たり15円実施
 通期では、一株当たり30円、配当性向44.6%を見込む

	第2 四半期末	期末	年間	配当性向 (連結)
平成23年3月期	15円	20円	35円	74.0%
平成24年3月期	15円	(予)15円	(予)30円	(予)44.6%

平成24年3月期
第2四半期決算説明会

ご清聴ありがとうございました

 株式会社 **DTS**
DTS <http://www.dts.co.jp/>